資料４

NIMICの活動紹介

市内で活動するNPOとボランティア
～外国につながる子どもを取り巻く状況～

NPO法人西東京市多文化共生センター（NIMIC）

お話の流れ

１．多文化共生事業について
・市の事業
・NIMICの事業

２．NIMIC子ども日本語教室について
・設立とこれまで
・NIMIC子ども日本語教室の周辺活動
・教室の様子

3. 今後の課題

多文化共生に関わる市の事業（NIMICが受託・協力）

1．多文化共生センターでの多言語日常生活相談
　平日10:00～16:00イングビル
　2021年度: 17 カ国、102 件、121 名　他に日本人からの相談あり
2．多言語による情報提供
　市報抜粋多言語版（くらしの情報）　月に1回発行
3．通訳ボランティア派遣
　市役所の窓口や学校へ通訳ボランティアを伴って相談できる制度　21件（2022年12月末現在）
4．ボランティアフォローアップ講座開催
5．その他、NIMICの事業・主にイベントを共催（協力）
6．外国籍児童生徒への日本語適応指導（指導者をNIMICが推薦）

NIMICの事業全体概観

事業の三つの柱

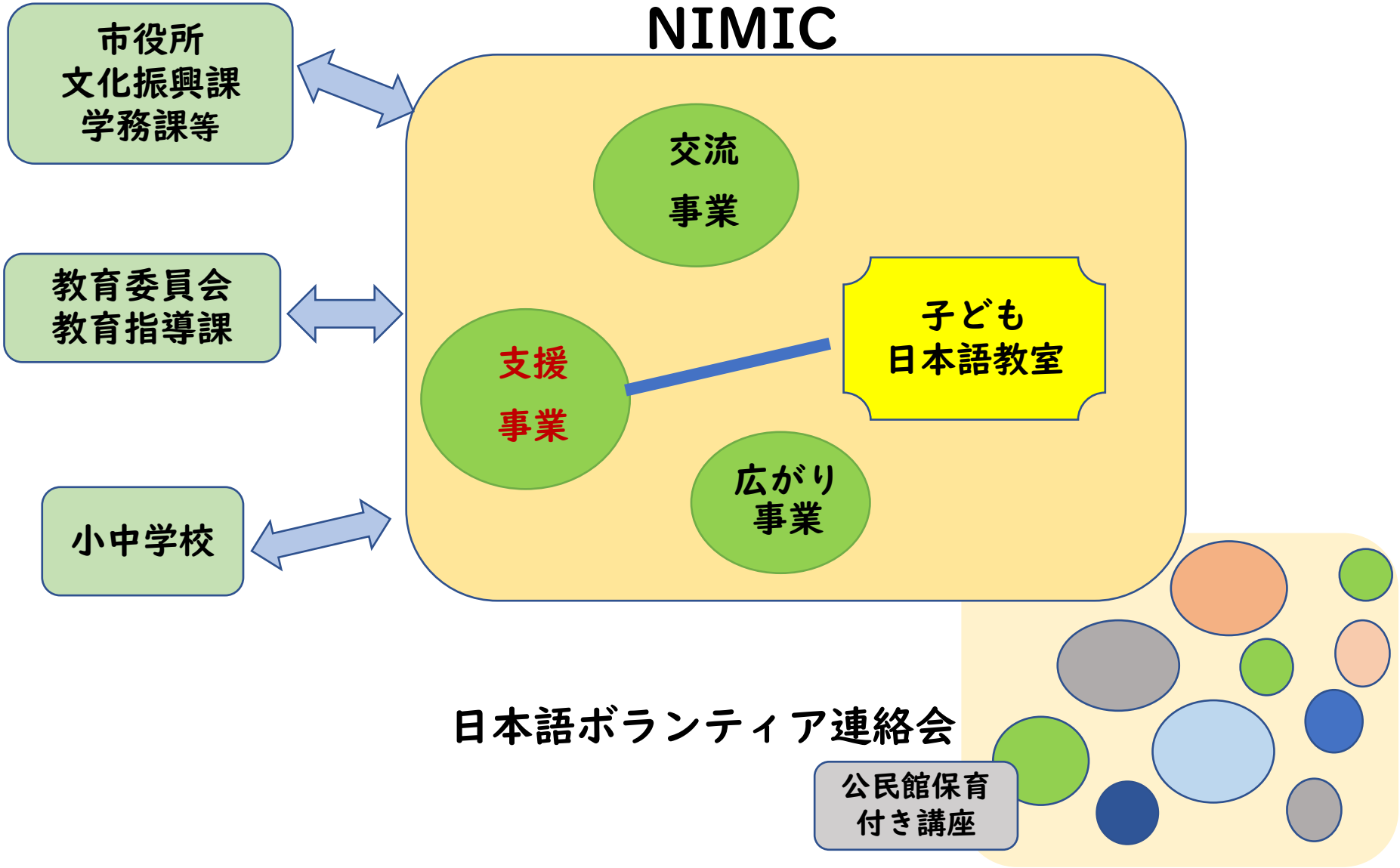
三つの事業形態	地域に在住する外国人の支援	多文化理解の促進と交流	活動活性化ネットワークづくり
西東京市からの受託事業	西東京市多文化共生センター 市報抜粋　くらしの情報 通訳ボランティア・翻訳		日本語ボランティアフォローアップ講座
西東京市との共催事業	総合防災訓練に参加 小学校入学前説明会	留学生ホームビジット 日本語スピーチコンテスト 多文化体験with Kids 子ども対象多言語で楽しく	日本語ボランティア入門講座
NIMIC独自の自主事業	子ども日本語教室	ゆかたを着て盆踊り 江戸東京たてもの園と花見 手打ちうどん作り体験 多文化サロン つながる世界プロジェクト 日本語交流 Nともの会	西東京市民まつりに参加 日本語ボランティア連絡会 HP・FB・広報誌・メルマガ等 SDGsと多文化共生講座 NIMIC Youth Club

NIMICこども日本語教室
設立～現在

1995年～地域日本語教室に子どもが参加、子ども指導の必要性

2006年　NIMIC設立
2007年　「外国にルーツを持つ子どもたちのサポートボランティア講座 」
「NIMICこども日本語教室」立ち上げ（市の公共施設）
市教委（教育指導課）・文化振興課・NIMIC３者の協働事業とする
2008年　谷戸教室開室（小学校内・教育指導課の橋渡し）
2009・2014・2017・2019・2022年　「子どもボランティア入門講座」
2013年　保一教室開室（市内全域をカバーするため）
2014年　「日本語指導が必要な児童･生徒に対する教育的支援に関する覚書」
で教育委員会とNIMICの間の役割分担と継続的な支援を確認
2015年　小学部イング教室が向台小学校へ移転（向台教室）
2015年～多摩地域の「多言語進学ガイダンス」実行委員会に中学部スタッフ
が参加　　市教委の後援(各学校で案内の配布)
2021年　中学部がひばりが丘中学校に移転

子ども日本語教室から見た連携関係



西東京市の日本語適応指導

・児童生徒が、日本語を話せないため学校生活に適応することが困難な場合に、日本語適応指導を実施する。

・指導期間：100時間（週に3時間の場合 約8か月）

・内容：基本的な日本語の学習や生活習慣、交通ルール等の安全指導。学習言語の習得。

・指導員：外国児童等を対象とした日本語指導に関する知識・資質及び経験を有する人

担任と保護者が面談 → 保護者が希望 → 校長（副校長）が申請 → 教育委員会指導課 → 適応指導員を学校に派遣

日本語適応指導

児童生徒	小学生　24人	中学生　9人	計　33人
学校	小学校　14校 （全18校中）	中学校　6校 （全9校中）	計　20校 （全27校中）
国別	中国(14)　アメリカ(3)　フィリピン(6)　ネパール(5) バングラディシュ(2) 韓国（1）モンゴル(1) 日本(1)		
指導員	14人　子ども日本語教室スタッフ12人 中国語の母語話者2人		

2022年12月現在

子どもを取り巻く環境への働きかけ

1．保護者の日本語学習、地域での孤立を防ぐため、地域ボランティア教室につなぐ
2．保護者の相談対応（学校からの連絡への多言語対応、教室送迎時の立ち話等）
3．保護者と担任教員の面談に通訳ボラ派遣(市の委託事業）
4．保護者のボランティア活動奨励
5．日本人保護者達への説明（小さな子ども対象のイベント送迎待ち時間に「外国ルーツの子どもたちの現状」開催）
6．学校内のイベントに協力
(多様性の楽しさを目指したワークショップ)

子ども自身の自己肯定感を高める働きかけ

1．日本語スピーチコンテストでメッセージを発表
　(担任を招待⇒クラス発表)
2．NIMICのイベントでボランティア(参加者案内等)
3．ロールモデルの提示（教室修了生のボランティア活動、
　教室参加、イベント司会等)

小学部児童
中学部生徒

中学部修了生

NIMIC子ども日本語教室

・小学部（3校）
児童数　17名　スタッフ　27名
中国（6名）、フィリピン（3名）、韓国（3名）
アメリカ（3名）、ギニア（2名）

・中学部（1校）
生徒数　13名　スタッフ　15名
中国（6名）、アメリカ（2名）、フィリピン（2名）
ネパール（2名）、韓国（1名）

2022年12月現在

今後の課題３点

（１）人材不足

子ども日本語教室・適応指導においても日本語指導を必要とする子どもの人数が増えているのでスタッフの補充が間に合わない

（２）教室に通えない児童・生徒についてのサポート

保護者の送り迎えが困難だったり、日本語ができないため交通手段の使用ができずに通いたくても通えない児童・生徒がいる

（３）適応指導（指導員）の認知度について

日本語適応指導員の認知度をあげたい。
該当児童・生徒に関わっていない先生方にも専門性を持つ日本語教師として認知してほしい

ご清聴ありがとうございました。

これからもご支援・ご協力を

よろしくお願いいたします。

NPO法人西東京市多文化共生センター（NIMIC）